

安曇野市地球温暖化防止実行計画

平成22年度 取り組み結果

種 別	H22年度			H20年度 CO ₂ 排出量	H20年度比 増減 〔 H22/H20 〕
	使用量	排出係数	CO ₂ 排出量		
電 気	10,744,162 kW	0.481	5,167,942 kg	4,501,800 kg	666,142 kg 〔 14.80% 〕
灯 油	554,985 ℓ	2.490	1,381,913 kg	1,282,490 kg	99,423 kg 〔 7.75% 〕
L P G	96,049 m ³	6.000	576,294 kg	500,151 kg	76,143 kg 〔 15.22% 〕
重 油	119,500 ℓ	2.710	323,845 kg	443,757 kg	119,912 kg 〔 27.02% 〕
ガソリン	124,509 ℓ	2.320	288,861 kg	281,990 kg	6,871 kg 〔 2.44% 〕
軽 油	52,483 ℓ	2.620	137,505 kg	141,167 kg	3,662 kg 〔 2.59% 〕
計			7,876,360 kg	7,151,355 kg	725,005 kg 〔 10.14% 〕

総括

平成21年4月より、市内の地球温暖化防止に向けた取り組みがされてきた。
その結果について、温室効果ガスの排出量を平成22年度と基準年の平成20年度で比較する。

- ・温室効果ガス排出量は、約10%の増加となっている。
これについて、以下の原因が考えられる。

保育園、交流学習センター等の施設の増加。

保育園、小中学校等の改築による近代化と改修工事に伴うエネルギー使用量の増加。

猛暑と厳寒による冷暖房に係るエネルギー使用量の増加。

現在、市の施設は老朽化による耐震補強等の更新時期にあるため、今後もしばらくはエネルギーの使用量は増加するのではないかと推察される。

- ・上記の理由や職場の新設・統廃合等により、施設ごとの温室効果ガス排出量について単純に比較できない側面がある。
- ・個々の職員が、「使用しない電灯を消す」といった小さなことからでも「無駄なエネルギーを減らす」という意識を持つだけで、かなりの温室効果ガスが削減できると考える。